

淡水魚の宝庫 佐賀県

それは地史的な偶然によって生まれ人間の営みによって守られた



佐賀県は淡水魚の宝庫です。佐賀の水辺には、世界的に珍しい淡水魚が普通に泳いでいたりします。しかし、それは佐賀県が田舎だからという理由だけではないのです。



(田島正敏氏提供)

調べてみよう

佐賀県に珍しい淡水魚が多くいるのはなぜだろう？



純淡水魚は地球の歴史の生き証人！

国内で純淡水魚が最も豊富なのは、濃尾平野や琵琶湖を中心とする地域です。そして、佐賀県、福岡県を中心とした北部九州は、広島県、岡山県を中心とした地域と並んで、純淡水魚が豊富な地域です。

これらの地域の魚類は、中国大陸の淡水魚と極めて近縁であることが特徴です。どうして海や山を越えられないはずの純淡水魚が、海を挟んで中国大陸と西日本に分布しているのでしょうか。

この不思議な淡水魚の分布は、地球の歴史を反映したものです。新生代第四紀以降も、少なくとも4回の大きな氷期（寒冷な時期）があったと言われています。地球が寒冷化すると海面は低下するので、最終氷期の海面は現在より120mも低かったと考えられています。海面が低下すると浅い海は干上がるので、大陸や島の中には陸続きになるところができて

COLUMN

淡水魚のいろいろ

①山や海を越えられない淡水魚

コイやドジョウなど、一生を真水の中だけで生活できるものを純淡水魚と呼びます。

②川だけでは生きられない淡水魚

アユやウナギなど、一生のうち必ず海と川を往復する

魚は^{かいゆうぎょ}海魚と呼ばれます。

③海水魚なのに淡水魚

スズキやクロダイなどは海水魚ですが、普通に真水域にも入ってくるので^{しょうせんばい}両棲性淡水魚と呼ばれます。

④魚ではないのに淡水魚

ヤツメウナギの仲間は^む貝類です。魚類ではありません。

ニッポンバラタナゴ

学名: *Rhodeus ocellatus kurumeus*

平野部のクリークや流れが遅い用水路などに普通に見られるバラのように美しい小魚です。中国大陸と陸続きだったころにやってきて、海面の上昇によって隔離され、日本固有亜種として進化しました。学名のクルマスは福岡県久留米市に由来します。近年では、亜種関係にある中国大陸原産のタイリクバラタナゴ (*R. o. ocellatus*) との交雑のため、絶滅危惧ⅠA類に指定されています。

ます。最終氷期に陸続きになったのは、東南アジア地域、ベーリング海峡、そして日本周辺の3か所しかありません。

この当時、瀬戸内海は干上がり、日本海は湖のように孤立し、東シナ海の海底は平原だったと考えられています。この平原上で、中国大陸の河川と西日本の河川はつながっていて、お互いの魚が行き来するようになったと推定されています。

有明海が守った魚たち

純淡水魚に限らず、**通し回遊魚**や**周縁性淡水魚**、汽水（海水と淡水が混ざり合い、塩分の少ない水）を好む海水魚も、沿岸伝いに日本にやってきたはずだと考えられています。それらの多くは、その後の環境変化で滅びていったと考えられますが、その一部は、中国大陸沿岸と環境の似た**有明海**の沿岸で生き残りしました。**ムツゴロウ**はその代表です。有明海は東京湾と同じくらいの大きさ



絶滅危惧ⅠB類

カゼトゲタナゴ

(田島正敏氏提供)

流れの緩やかな幅の狭い水路に生息する小魚。北部九州の固有亜種※1であったことから英名はKyushu bitterling。佐賀市中心部の小さな用水路などで見られます。



絶滅危惧ⅠA類

アリアケヒメシラウオ

(田島正敏氏提供)

世界中で筑後川などの有明海流入河川にのみ生息する固有種。他のシラウオ類と異なり、本種は淡水域のみで生活しています。

嘉瀬川や六角川などでも姿が見られます。



絶滅危惧ⅠB類

エツ

(田島正敏氏提供)

世界中で有明海湾奥部にのみ生息する固有種。産卵は筑後川と六角川の淡水域で行われます。筑後川流域の一部には弘法大師が流したヨシの葉がエツになったという伝説があります。

※1 分布が特定の地域に限定される亜種のこと。



絶滅危惧ⅠB類

アリアケスジシマドジョウ

(田島正敏氏提供)

世界中で佐賀、福岡、熊本の3県の有明海流入河川にのみ分布する淡水魚。きめの細かな砂底の河川や用水路に流れの緩やかな幅の狭い水路に生息しています。



絶滅危惧ⅠB類

ヤマノカミ

(田島正敏氏提供)

国内では有明海とその流入河川にのみ分布。5月ごろに河川に遡上し、11月頃に有明海に戻ってタイラギなど大型二枚貝の貝殻に産卵。卵はオスによって保護されます。



絶滅危惧Ⅱ類

ハゼクチ

(田島正敏氏提供)

国内では有明海とその流入河川にのみ分布する日本最大のハゼ。六角川より西の柔らかい軟泥の干潟に掘った穴の天井に産卵。1年で最大55cmに成長する年魚です。

ですが、有明海には、他の海と異なり、「日本国内ではここだけ」「世界中でここだけ」といった生物が多く生息しています。離島を除いて、このような海はあまり例がありません。

そして農業が淡水魚を守った

稲作伝来以降、有明海沿岸では、人々は干拓により水田を作り出してきました。このとき、**江湖**※2の泥を掘り上げて**微高地**に**客土**※3して水田とし、掘り下げられ

COLUMN

淡水取水（あおり）

穏やかな内海である有明海は、干満の差が最大6mに及ぶこともある海です。通常、川から海に流れ込んだ真水は河口付近では、海水と混ざって利用できなくなります。そうでなくても、川が一番低いところを流れますので、ポンプを使わなければ取水できません。ところが、有明海沿岸では河口付近でも、真水は海水と混じり合うことなく、密度の違いで海水の上に乗ったまま逆流し、上げ潮によって数mも堰上げされます。

水の不足する佐賀平野南部では、この上澄みの部分を上手に取水してクークに蓄えて、利用してきました。

た部分が**クリーク**となりました。

また、水田の拡大によって不足する水も、**淡水取水**(あおとり)によって有明海から確保されてきました。クリークは「ゴミ汲い」と呼ばれる泥上げ作業など、人の手によって管理され陸化が防がれてきました。また、クリークには食料となる魚を増やすため「**温め**」と呼ばれる魚礁^{ぎょしょう}※4も設置されていました。

※2 干潟の表面に刻まれた水筋。 ※3 他から性質の異なる土を運んで混入すること。

※4 魚を保護・育成し、乱獲を防ぐために設置された構造物。

つまり、人間の食料を作り出す営みが、結果として淡水魚たちの生息地を作り、守ることになったのです。

日本の「鮎」は佐賀県産？

文学の世界は別として、生物名はカタカナで表記します。それは、中国と日本では同じ文字が別の生物を指していることがあるからです。例えば「**鮎**」^{あゆ}という漢字は、もともと体表が「粘つく魚」であるナマズを示す字なのです。中国では、アユは「香魚」と表記されます。日本では、アユは寿命が1年なので「年魚」、または、鱗が小さいので「細鱗魚」などと表記されていました。

『日本書紀』や『肥前風土記』には「昔、^{じんこうこうごう まつうら}神功皇后が松浦地方の玉島川(唐津市)に立ち寄られた際に、衣から引き抜いた糸と針を曲げた釣針に飯粒を付け『これからの戦いに勝てるならば細鱗の魚よ我が釣り糸を呑め』と言ってアユ釣りで占いをした」という故事が書かれています。

流れの中で石の表面についた藻類だけをかじり取るアユの食性からはありえないことですが、このときの「占い」でアユが釣れたことから「鮎」という国字(日本で作られた漢字風の文字のこと)が作られたそうです。

余談ですが、この珍しい事から「^{めづらのくに}希見国」という言葉がなまって「松浦」の地名ができたとも書かれています。

真偽の程は定かではありませんが、国字の「鮎」は玉島川でアユが釣れなかったら作られなかった字かもしれないのです。

サケやトゲウオの仲間もやってきます

^{げんかいなだ}玄界灘側の河川では、アユのほかに、ウグイやシロウオなどの回遊性の淡水魚が河川での重要な資源となっています。また、九州には縁のない魚と思われがちなサケやトゲウオの仲間も見られます。

学校の取組

【アリアケスジシマドジョウの保全】

佐賀県立佐賀西高等学校
サイエンス部

佐賀西高校サイエンス部では、アリアケスジシマドジョウの生息数調査と人工繁殖に取り組んでいます。



調べて書いてみよう!

佐賀県に生息する絶滅危惧種の淡水魚について調べて書いてみましょう。



出かけてみよう!



佐賀県立宇宙科学館 (武雄市武雄町大字永島16351)

常設展示「佐賀発見ゾーン」に、淡水魚や有明海などに暮らす生物を展示しています。

TEL 0954-20-1666 / 休館日 月曜日・年末 / 開館 平日9:15~17:15、
休日9:15~18:00、春休み・GW・夏休み9:15~19:00

(佐賀県観光連盟提供)



佐賀市エコプラザ/佐賀市清掃工場内

(佐賀市高木瀬町大字長瀬2369)

佐賀の河川や有明海に生息する生き物を展示したミニ水族館があります。

TEL 0952-33-0520 / 定休日 水曜日 / 開館 10:00~17:00

(佐賀市循環型社会推進課提供)



検索してみよう!

佐賀県の淡水魚

